

平成30年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
産業建設部長 難波 利光	<p>●使命 私たち産業建設部は、住環境のインフラ整備を進めることで安全で快適な生活空間の創出を目指します。また、観光資源を活かしながら市の魅力を伝えるための情報発信事業を推進し、併せて地域が元気で持続的発展できるよう、企業誘致等にも力を入れながら施策を展開し、産業の活性化を積極的に進めます。</p> <p>●基本方針 ①河川、高潮、住宅の耐震化等の防災対策事業を計画的に実施します。 ②生活道路等の年次的な整備を促進します。 ③JR駅前整備計画の実現に向け、事業を促進します。 ④錦海湾堤防、錦海排水ポンプ等公共施設の管理責任を果たすとともに、安全で円滑な事業実施を図ります。 ⑤農林水産業の活性化を後押しするため、地域特産品の開発やブランド化、農林水産物等の販路拡大等を積極的に推進します。 ⑥拡大する有害鳥獣による農作物への被害を抑えるため、積極的に事業を進めていきます。 ⑦魅力ある観光資源を活かしながら情報発信を行うことで、観光客の誘致に努め、市の知名度向上を推進します。 ⑧インバウンド対策に取り組み、訪日外国人旅行客の誘致を図ります。 ⑨地域産業の活性化を図り、創業者支援、企業誘致を促進します。</p>	所管課	建設課・農林水産課・商工観光課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			33人	6人	39人
		一般会計	3,130,546 千円		
		特別会計	852,841 千円		
		計	3,983,387 千円		
		(うち人件費)	(231,273 千円)		

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	道路施設、住宅の老朽化対策の推進	<p>道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持、修繕することが法令化されたことを受け、5年に1回、橋梁点検を実施し健全性の診断を行い、予防保全の観点から早期補修を行うなど、適正な管理を進めます。</p> <p>住宅について、住宅耐震診断・補強計画、耐震工事を広報誌等による周知により事業推進し、災害の未然防止や被害の軽減を図ります。</p>	<p>市道の橋梁583橋について、昨年度まで423橋の点検が完了し、残り160橋について法定点検を実施します。</p> <p>点検結果のうち、早期措置を講ずべき橋梁の補修を実施します。</p> <p>住宅の耐震診断、補強計画、補強工事に対する補助金を交付します。 (木造住宅) 耐震診断 19 件 補強計画 10 件 補強工事 5 件</p>	<p>160橋の法定点検について発注済み。現在点検中。</p> <p>受付実績件数 (木造住宅) 耐震診断 4 件 補強計画 3 件 補強工事 4 件</p>	<p>1橋追加し、161橋の法定点検が完了しました。結果、2m以上の橋梁数は580橋となりました。 補修が必要な橋梁13橋について工事完了。</p> <p>受付実績件数 (木造住宅) 耐震診断 5 件 補強計画 6 件 補強工事 4 件</p>	<p>市道橋の5年に一回の法定点検の一巡目が全て完了しました。</p> <p>交付実績件数 (木造住宅) 耐震診断 5 件 補強計画 6 件 補強工事 4 件</p>
2	生活道路等の整備	<p>地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備などを促進し、安心安全な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。</p>	<p>生活道路改良工事では、舗装修繕を含め、20 路線を実施します。</p> <p>生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率60%以上を目指します。</p> <p>用水路等の転落事故防止対策のため、防護柵等の安全施設を 300m実施します。</p>	<p>27路線の工事発注を行い、1路線が工事完了。</p> <p>要望件数233件に対し105件対応し実施率45%。</p> <p>防護柵設置工事として安全施設264m発注済み。現在施工中。</p>	<p>31路線の工事発注を行い、21路線が工事完了。</p> <p>要望件数308件に対し179件対応し実施率58%。</p> <p>防護柵設置工事として安全施設210mの工事完了。残りは現在施工中。</p>	<p>28路線の工事完了。3路線は繰越工事になりました。</p> <p>要望件数336件に対し233件対応し実施率69%。</p> <p>防護柵設置工事として安全施設 264mの工事完了。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
3	<p>J R 駅前等整備事業の推進</p>	<p>市内に3駅あるJ R 駅前等整備計画の実現に向けて、関係者との調整、事業に推進を図ります。</p>	<p>J R 西日本と協力しながら、整備条件等について調整を行います。 地権者との用地交渉を早急に進め、用地取得を行ったのち、工事発注を行い、工事着手に取り掛かります。</p>	<p>地権者との用地交渉中。呂久駅、大富駅の事業認定申請の準備中。</p>	<p>長船駅、呂久駅の警察協議を実施中。 呂久駅の事業認定申請の事前相談を実施中。 大富駅の用地交渉は難航しているため、現在の用地範囲内の計画を立案中。</p>	<p>長船駅の警察協議が完了しました。呂久駅は警察協議を継続中。呂久駅の事業認定申請の事前相談の回答があり、修正作業し5月に説明会を開催予定。 大富駅は用地範囲内で計画を立案し、今後地元説明を行う予定。</p>
4	<p>錦海塩田跡地の適正な維持管理及び跡地活用事業の円滑な推進</p>	<p>跡地の水質検査を継続的に実施し、状況を監視します。</p> <p>年間を通じて施設の適正な維持管理を実施し、災害等を未然に防止します。</p> <p>災害に備え、錦海湾堤防を海岸保全区域（建設海岸）に指定できるよう県と協議していきます。</p> <p>太陽光発電所の建設工事が完了し、秋頃から売電開始になることから、売電後の環境保全について、事業者との連携を図ります。</p>	<p>水質検査結果については、引き続き、定期的に地元関係者に周知します。</p> <p>降雨時、排水ポンプの適切な稼働を行い、周辺地域の浸水を防止します。 老朽施設・設備等については、計画的に撤去及び廃棄します。</p> <p>年度内に港湾区域への変更を完了し、海岸保全区域の指定を目指します。</p> <p>平成30年秋の運転開始に向けて、新たな監視項目（温度の上昇等）について、事業者と協議します。</p>	<p>水質検査の結果を関係者に周知、水質について異常はありませんでした。</p> <p>7月に排水ポンプの保守点検を実施。 適切に排水ポンプを稼働しました。</p> <p>9月議会で港湾区域の変更についての議案を可決していただいた。現在、海岸保全区域の指定に向けて申請の準備を進めています。</p>	<p>水質検査の結果を関係者に周知、水質について異常はありませんでした。</p> <p>適切に排水ポンプを稼働しました。</p> <p>海岸保全区域の指定に向けて申請中で2月には指定告示される予定。 平成30年10月1日に商業運転開始。温度の上昇等の問題はなく、継続して監視する。</p>	<p>水質検査の結果を関係者に周知、水質について異常はありませんでした。</p> <p>適切に排水ポンプを稼働しました。</p> <p>海岸保全区域の指定告示が2月19日にされました。</p> <p>商業運転は順調。 温度の上昇等の問題はなく、継続監視する。ガスは1箇所継続観測し年に1回報告を受ける。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	農業をはじめとした地域産業の活性化	<p>市内の耕作放棄地を復旧するとともに、新規就農者の確保とその支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫事業等を活用し、耕作放棄地の年間活用面積を3 ha 増加。 ・関係機関との連携による、技術取得のための研修、就農後の経営支援等の実施。 ・瀬戸内市振興公社等関係機関と連携したブランド化に向けた取組による農林水産業等の活性化。 	<p>耕作放棄地を含む農地利用状況調査を実施して集計中</p> <p>研修生（1名）を支援するとともに、7 月末に生産者9 名に、就農後の状況調査・指導を実施した。</p> <p>トマトアグリフードフェア等、各種イベントにおいて、瀬戸内市振興公社と連携して市内産農産物等のPR を実施した。</p>	<p>利用状況調査により耕作放棄地となった農地の所有者の意向調査を実施中 補助事業を活用して、耕作放棄地29 a を解消</p> <p>新規就農に向けた研修生を新たに1名受入予定（2月中旬） 1月末に生産者10名に、就農後の状況調査・指導を実施した。</p> <p>瀬戸内市振興公社と連携し、市内2 団体に対し、新たな瀬戸内市ブランドに向けた新商品開発を支援した</p>	<p>農地の所有者へ意向調査を行った結果、合計1 ha 程度の放棄地については、解消すると回答があり、それら以外の農地は農地中間管理機構等の活用を検討中。</p> <p>新規就農に向けた研修生が本年3 月に事前研修を終え、新年度より新たに2 年間の研修を受講予定。</p> <p>市内の農産物加工販売業者3 社が、千葉県で開催されたスーパーマーケットトレードショーに参加し、商品PR・販路拡大を行った。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
6	有害鳥獣被害対策の推進	<p>近年被害が増加している鳥獣被害の防止を図るための対策を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会、実施隊の運営 ・捕獲強化（捕獲推進機器の導入を含む）集落で管理する箱罠 5 基設置 ・防護柵設置（個別柵及び集落柵の実施） <ul style="list-style-type: none"> 個別柵 100 件 集落柵 4 件 ・地域で取り組む鳥獣害対策の推進（地域おこし協力隊の配置と育成、鳥獣対策セミナー開催（3 回）等） 	<p>協議会総会を開催して事業計画を決定</p> <p>箱罠 4 基を導入設置済み</p> <p>個別柵 98 件 集落柵 3 件</p> <p>地域おこし協力隊 1 名を追加採用し、2 名配置 協力隊により住民指導（防護柵設置検査、農作物被害調査、窓口相談）を実施</p>	<p>箱罠 5 基（累計）を導入設置済み</p> <p>個別柵 144 件 集落柵 3 件 （各累計）</p> <p>鳥獣対策セミナーを 3 回開催</p> <p>11/20 35 人参加 12/4 31 人参加 12/18 44 人参加</p>	<p>箱罠 6 基（累計）を導入設置済み</p> <p>個別柵 145 件 集落柵 3 件 （各累計） そのほか、今後、集落柵の設置を検討相談している集落 2 件</p> <p>農産物への被害相談に随時対応するなど、鳥獣害対策の普及啓発を行った。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	魅力ある観光資源の活用による観光客の誘致	<p>観光資源の掘り起こしや磨き上げを行い、効果的な情報発信に取り組むことで、観光客の増加と市の知名度の向上を図ります。</p> <p>「瀬戸内海」や「日本刀」などの既存観光資源の磨き上げや新たな観光資源の掘り起こしを実施します。また、ターゲットや観光ニーズに即し、メディア等を活用した観光情報の発信を強化するため、シティプロモーション事業を実施することにより、市の知名度を高め、誘客の促進を図ります。</p> <p>・目標入込客数：800,000人</p>	<p>シティプロモーション事業については、プロポーザルにより委託業者も決定し、紙面掲載、フリーペーパーの作成、モニターツアーの実施に向け、計画の具体案が示され、事業の実施に向けた準備が進められています。</p>	<p>瀬戸内海を活かしたクルーズ商品の掘り起こし、磨き上げを進めています。</p> <p>シティプロモーション事業のひとつであるモニターツアーは、11月に無事終了しました。また、春の行楽シーズンに向け、webを活用した発信を1月より開始し、3月の紙面掲載、フリーペーパーの作成など、誘客促進を図る情報発信を進めています。</p>	<p>新たな観光資源の掘り起こし、磨き上げについては、牛窓港での帆船イベントについて調整を行い、募集につなげることができました。</p> <p>シティプロモーション事業は、誌面掲載、フリーペーパーの作成、配布やWebを活用した情報発信により、市の観光情報を効果的に発信できました。</p> <p>目標入込客数については、7月豪雨の影響もあり、目標を下回る693,544人にとどまりました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
8	訪日外国人の誘致	<p>インバウンド対策に取り組むことにより、外国人観光客の増加を図ります。</p> <p>インバウンドコーディネーターを設置し、外国人観光客の増加に向けた取組を強化します。</p> <p>・目標外国人観光客数 2,800人 (対象施設:備前長船刀剣博物館、牛窓海遊文化館、市内宿泊施設)</p>	<p>吉井川流域 DMO も設立され、インバウンド対策を中心とした広域連携も進んでいます。また、インバウンドコーディネーターによる外国人観光客の誘致も「日本刀」を核として刀剣博物館を中心に進められています。</p>	<p>岡山県外国人受入協議会、せとうち DMO と連携した事業を進め、海外メディアへの情報提供、海外ブロガーによる情報発信等を行い、海外業者が集まる商談会での PR 等を実施しました。また、吉井川流域 DMO による留学生のモニターツアーの実施、海外での商談会などを通じて新たな観光商品開発等に努めています。</p>	<p>「日本刀」を核とした外国人観光客の誘致を進め、インバウンド関係団体との連携、海外メディア等への情報提供、各商談会での PR の実施により、目標を上回る外国人観光客を瀬戸内市に誘致することができました。</p> <p>・外国人観光客数 3,359人</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
9	<p>地域産業の活性化と企業誘致の促進</p> <p>地域活性化策として、工業団地の整備及び優良企業誘致活動を推進します。</p>	<p>創業支援事業計画に基づき、瀬戸内市商工会、岡山県産業振興財団、金融機関との連携による創業支援件数 149 件及び創業件数 18 件 (各連携機関合計数値)</p> <p>利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援を行います。</p> <p>岡山連携中枢都市圏の連携市町と合同で食品製造業見本市へ共同出店し、食品製造業の販路開拓・拡大につなげます。 ・ 出展予定企業数 3 社</p> <p>豆田工業団地の造成関連工事の完了と企業への売却を実施します。また、新たな工業団地の造成に向けた方策の検討及び情報収集を実施します。</p>	<p>創業支援について、備前市、和気町と連携した「創業塾」の準備も進んでいます。また、利子補給等の中小企業支援も予定どおり進められています。</p> <p>食品製造見本市への共同出展の準備も商工会との連携により、順調に進められています。</p> <p>豆田工業団地造成工事も完了間近となっています。</p>	<p>創業支援について、備前市、和気町と連携して創業塾を開催し、瀬戸内市からは 13 人の参加がありました。その内、現在までに市内で創業した 9 件に奨励金を交付しています。利子補給による中小企業支援も随時行っています。食品製造見本市についても出展する 3 社が決定し、準備を進めています。</p> <p>豆田工業団地は 12 月末で完成し、土地売買契約を締結しました。また、新たな工業団地の地区指定に向けて準備を進めています。</p>	<p>備前市、和気町と共同で開催した「創業塾」は当市から 13 名が参加し、最終的には、そのうちの 10 名が市内で創業しました。また、利子補給等の中小企業支援も随時行っています。</p> <p>さらに、食品製造見本市も当市から 3 社が出展し、商談及び PR を行いました。</p> <p>豆田工業団地は、土地売買契約を締結した企業への売却が完了し、豆田工業団地の事業は完了しました。また、新たな計画の策定、企業団地の指定に向け、準備を進めています。</p>